

生誕90年 HIRAYAMA IKUO

平山郁夫展

悠久のシルクロード

ジュニア ガイド



日本画家・平山郁夫先生は世界中を旅して絵を描いたんだ。

どんな絵があるのか見てみよう！

作品を見るときのちゅうい

- ★作品はさわったり、ゆびをさしたりしないでね
すこしはなれてじっくり見てみよう
- ★走ったり、大きな声でおはなしはやめよう
小さな声でしゃべろうね
- ★書くときはえんぴつを使おう
持っていないときは、係の人にきいてね
- ★けいたいやゲーム機を見ながら歩くのはやめよう

なまえ：



シルクロードってどこ？



ぼくはさがわん
3きょうだいのたびた！
平山先生に
あこがれているんだ♪

シルクロードは、ヨーロッパから中国までを結んだ道のことで、2000年以上前から、この道をたくさんの人が行きかい、文化や品物が運ばれました。当時から高級品だった絹を運んでいたことから、シルク（日本語で絹のこと）ロードの名前がついたのです。

商人たちは、荷物をのせて運ぶのにすぐれていたラクダやラバと一緒に、隊列をなして砂漠や標高が高い場所を進みました。彼らのことをキャラバンといい、平山先生の絵の中にもよく登場します。

さがしてみましよう。

オスのロバと
メスのウマの
こどものことを
ラバというよ！



もも



え 絵をじっくり見てみよう！

ローマから西安までを結ぶと、その長さはおよそ 12000 km くらいとされています。東京から滋賀までがおよそ 450 km なので 27 倍ほどの長さです。距離が長いということは、住んでいる人の暮らし、気候、景色がいろいろかわります。どんなちがいがあるか、見てみましょう！

てんじつ 展示室①のへや

トルコという国の絵がたくさんあります。ブルーモスクという作品がありますが、モスクとはトルコのことばでお寺を意味します。モスクの屋根はとくちょう的です。

てんじつ 展示室③のへや

このへやにはけわしい山が描かれた作品がかざられています。シルクロードはすごくあつい砂漠や、富士山よりも標高がたかい場所を進まなければいけません。

てんじつ 展示室⑤のへや

このへやは中東とよばれる地域の絵がたくさんあります。描かれている男の人は頭に布をかぶっていたり、巻いていたりします。この地方の伝統的な衣装です。

モスクの絵をかいてみよう

たかい場所は酸素がすくないから呼吸がしにくいんだ。

道を進むのも大変だね。



ちゅちゅ丸

絵に描かれている男の人をかいてみよう



ろうらん でんせつ 楼蘭の伝説

楼蘭は中国の西部、タクラマカン砂漠にむかしあった都市です。今から 1600 年ほど前に、都市はなくなってしまいました。そのときの楼蘭の女王さまが美しい楼蘭の地から他の場所へ移動することをつらく感じ、この地でえいえんに眠ることにしたという伝説があります。平山先生はその伝説を聞いて、眠りについての伝説の女王さまを描きました。月明かりの下、愛した楼蘭の地で眠りについたら女王さま。どんなことを考えてねむりについたのでしょうか。想像してみましょう。

おうちに 家 へ 帰ってからは

てんじ さくひん いろ 展示している作品のように色をぬってみよう！

